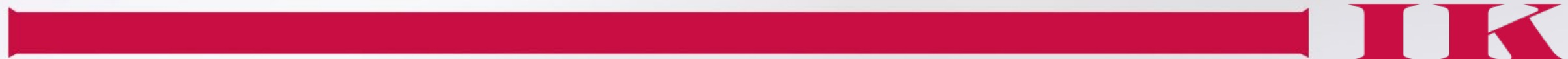


稲畑産業株式会社

第**164**回 定時株主総会



2025年6月17日



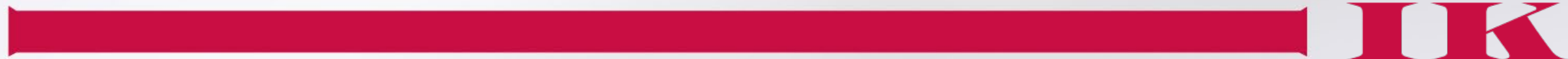
スマートフォン・携帯電話は、
電源をお切りいただくか、マナーモードに設定
いただくようお願い申し上げます。



録音・録画機器の会場への持ち込みは
ご遠慮お願い申し上げます。

稲畑産業株式会社

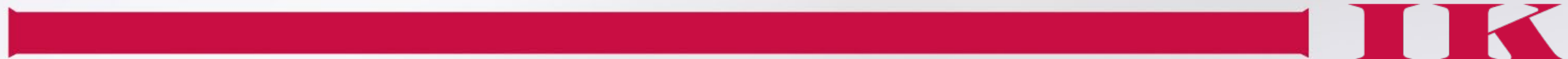
第**164**回 定時株主総会



2025年6月17日

稲畑産業株式会社

第**164**回 定時株主総会



2025年6月17日

1 報告事項の報告

2 議案の上程

3 質疑応答

4 採決

議決権に関する報告



監査報告

招集ご通知 P.70-71



報告事項

第164期（2025年3月期）
事業報告

招集ご通知 P.34-65

事業の経過及びその成果

世界経済

- 地域ごとに差はあるものの、総じて回復傾向

米 国

個人消費や政府支出が増加し、
景気は拡大

中 国

政策効果により生産や輸出は増加したが、
消費や設備投資は横ばいにとどまるなど、
回復に足踏み



2025年3月期の経済情勢

世界経済

■ 地域ごとに差はあるものの、総じて回復傾向

アジア 新興国

インド

拡大

インドネシア

緩やかに回復

タイ

弱含み

欧州

ユーロ圏

消費や設備投資を中心に
回復の動き
ドイツでは回復に足踏み

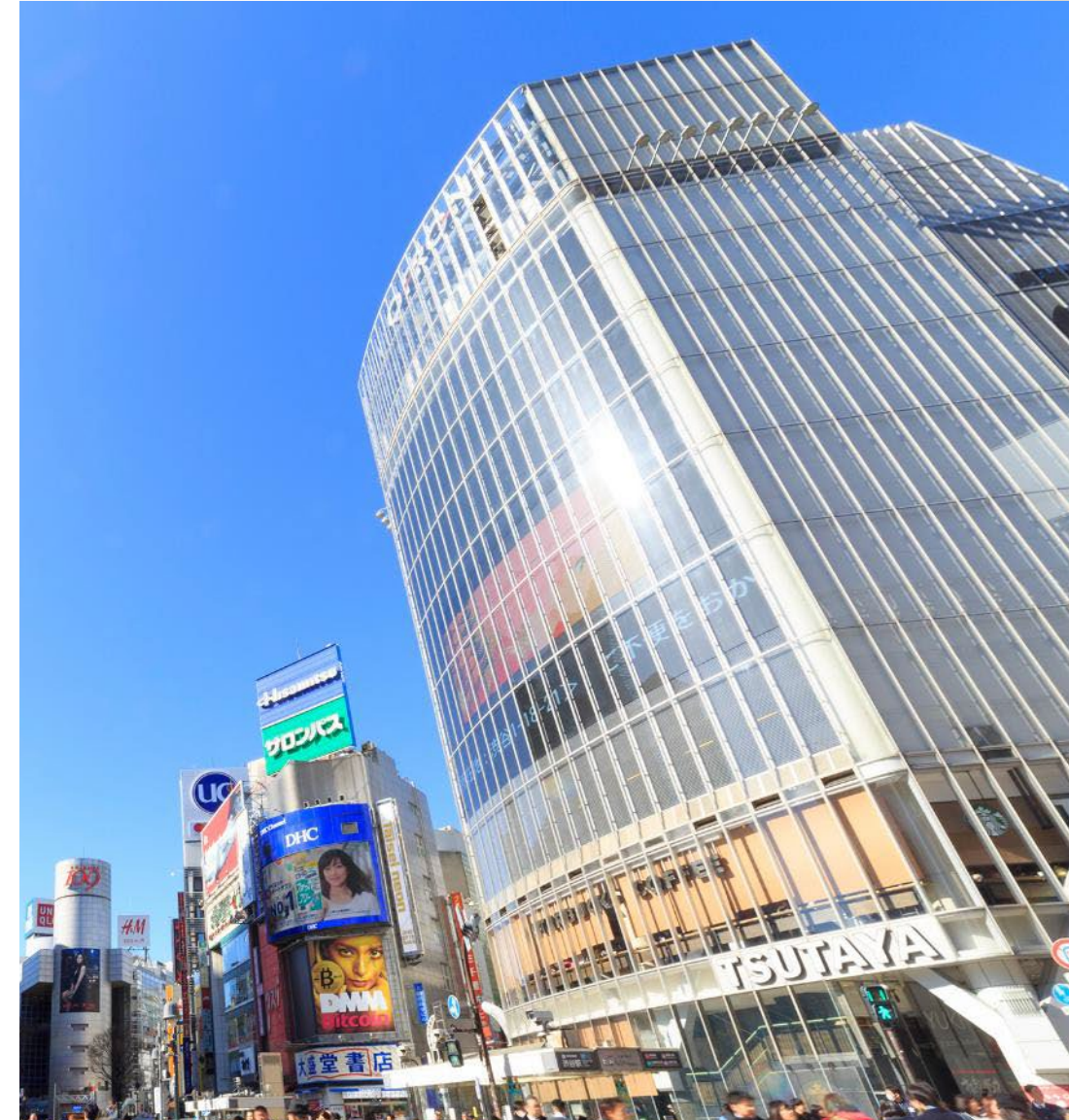
英国

消費や生産を中心に
回復に足踏み

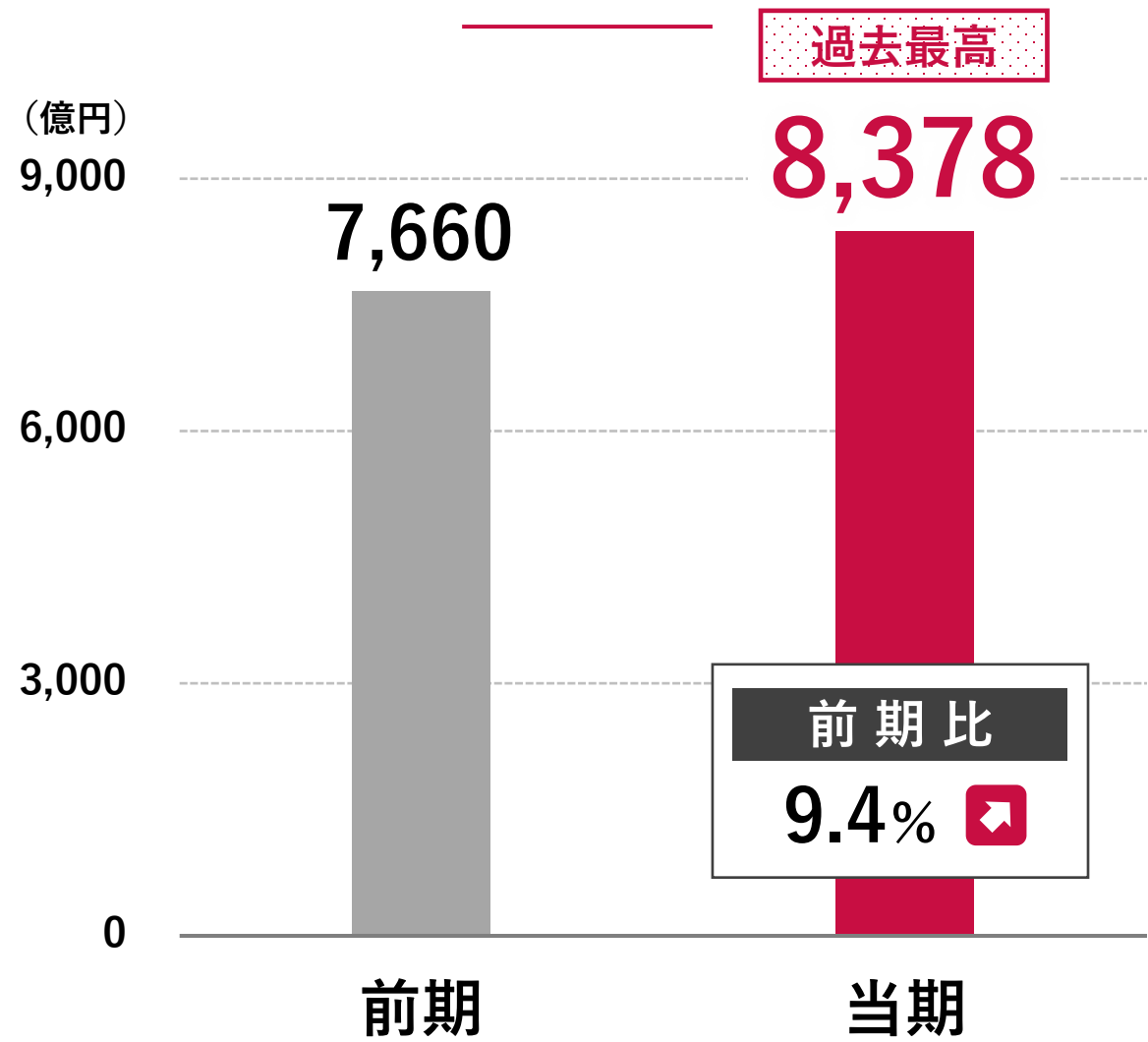


日本経済

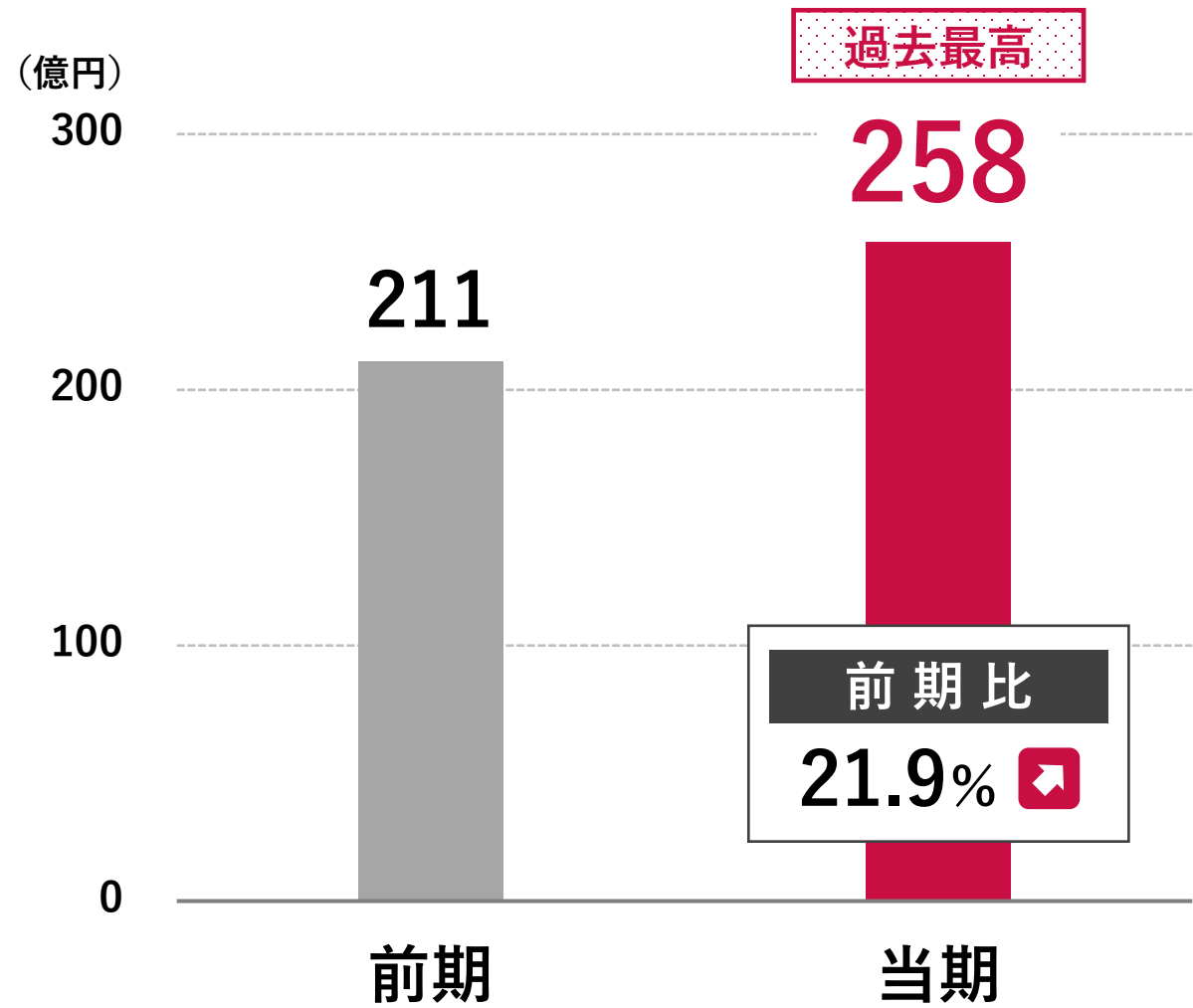
- 設備投資などを中心に緩やかに回復
- 個人消費は一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動き
- 企業収益や雇用情勢も総じて改善



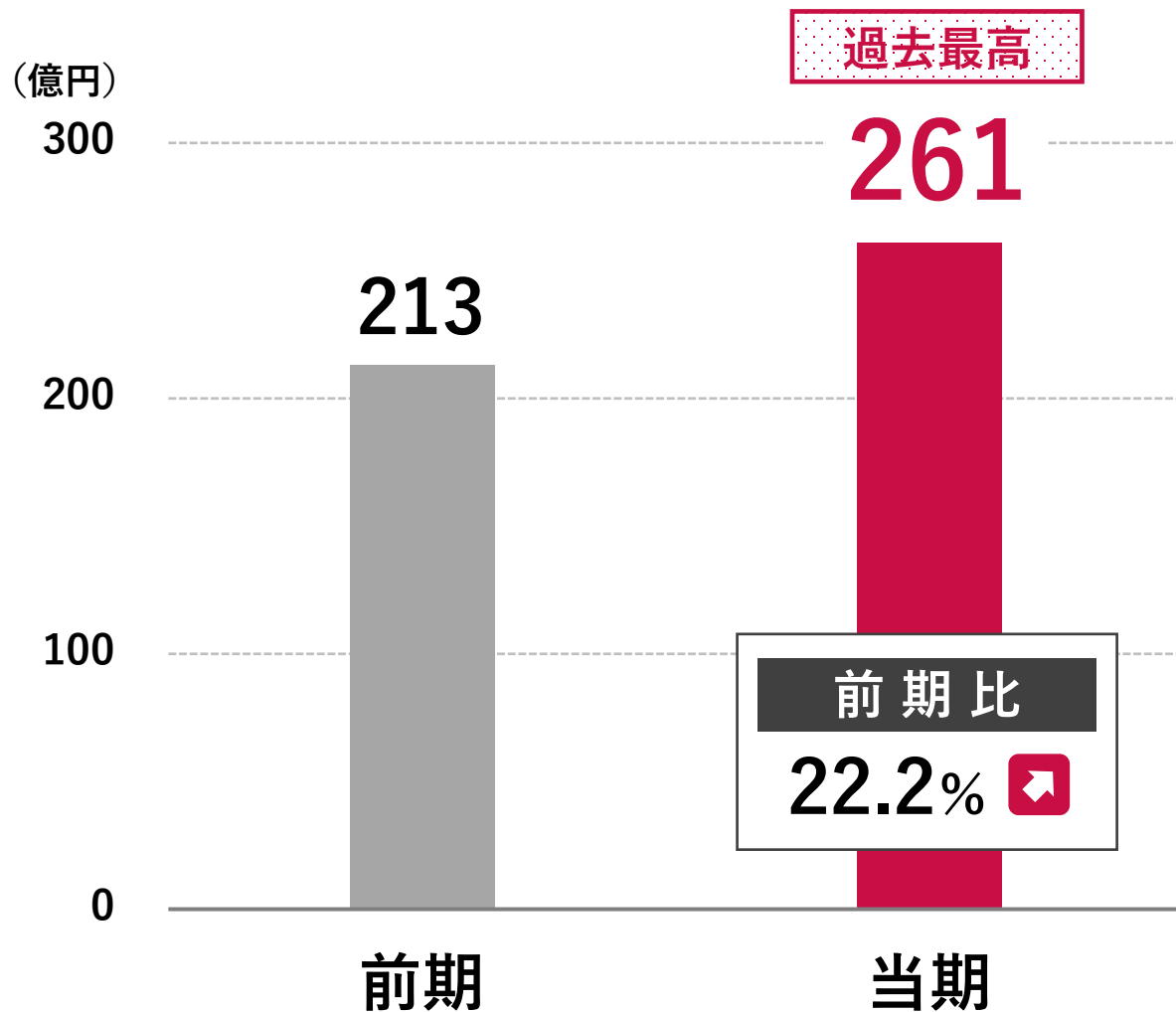
売上高



営業利益

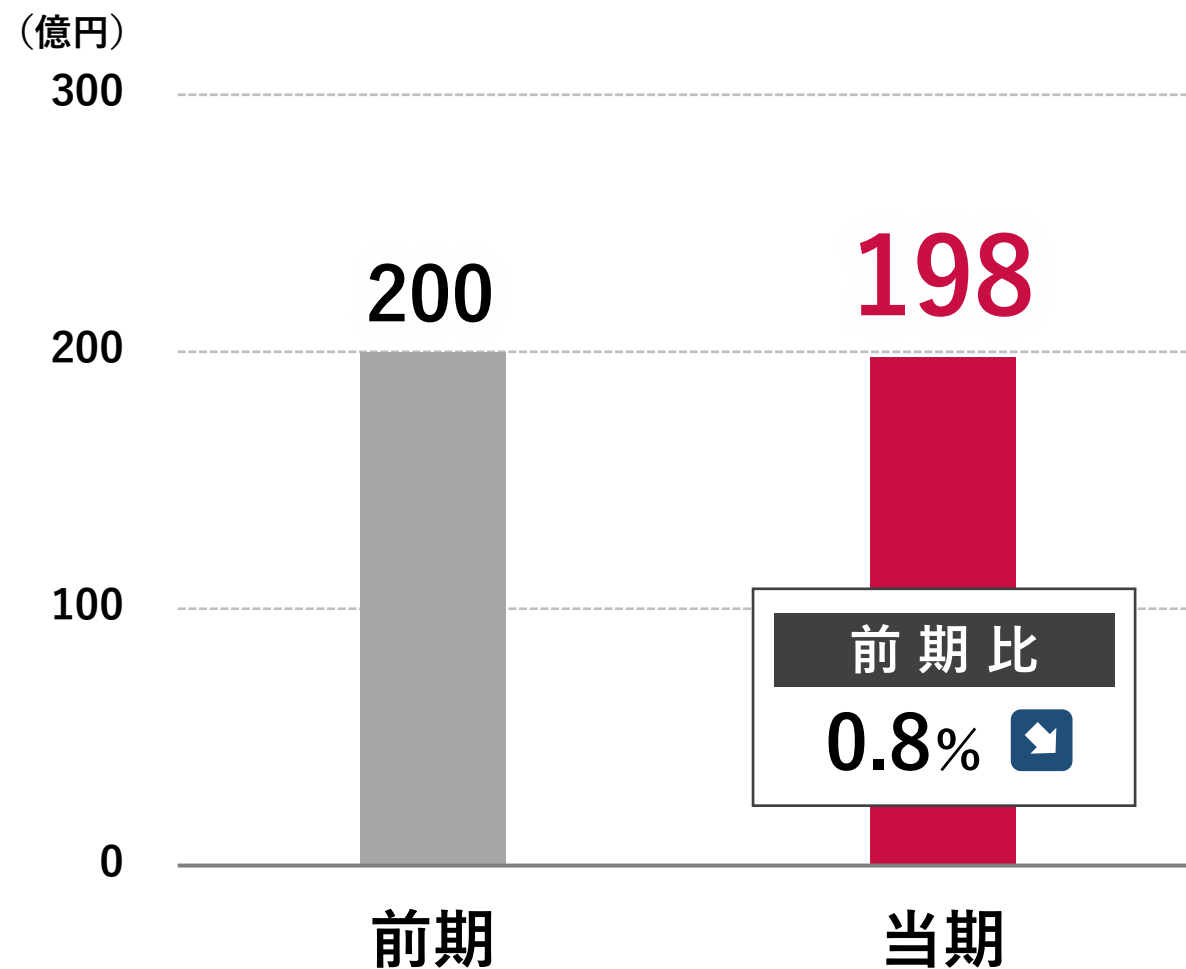


経常利益



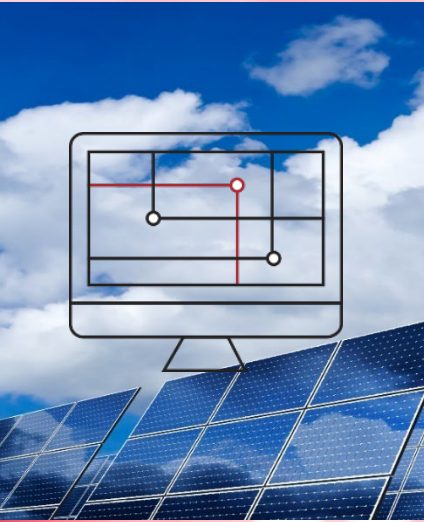
親会社株主に帰属する

当期純利益



事業区分別の概況

招集ご通知 P.35-37

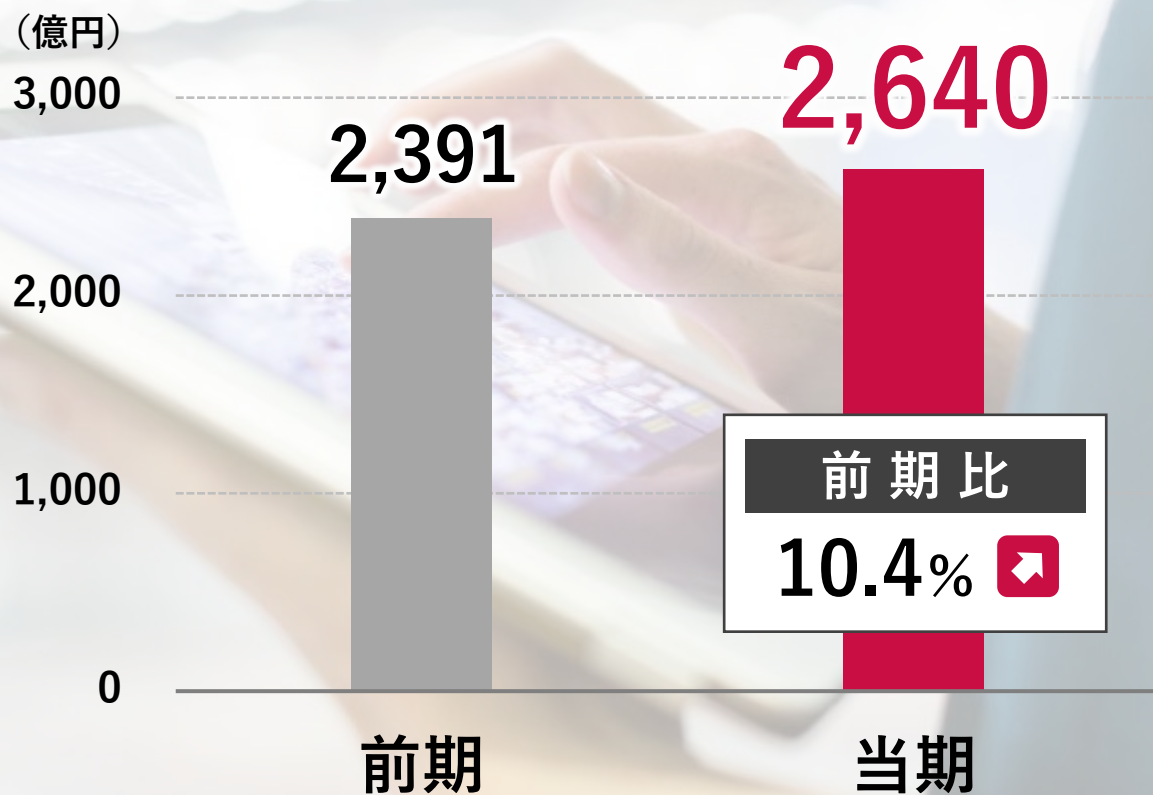


情報電子事業

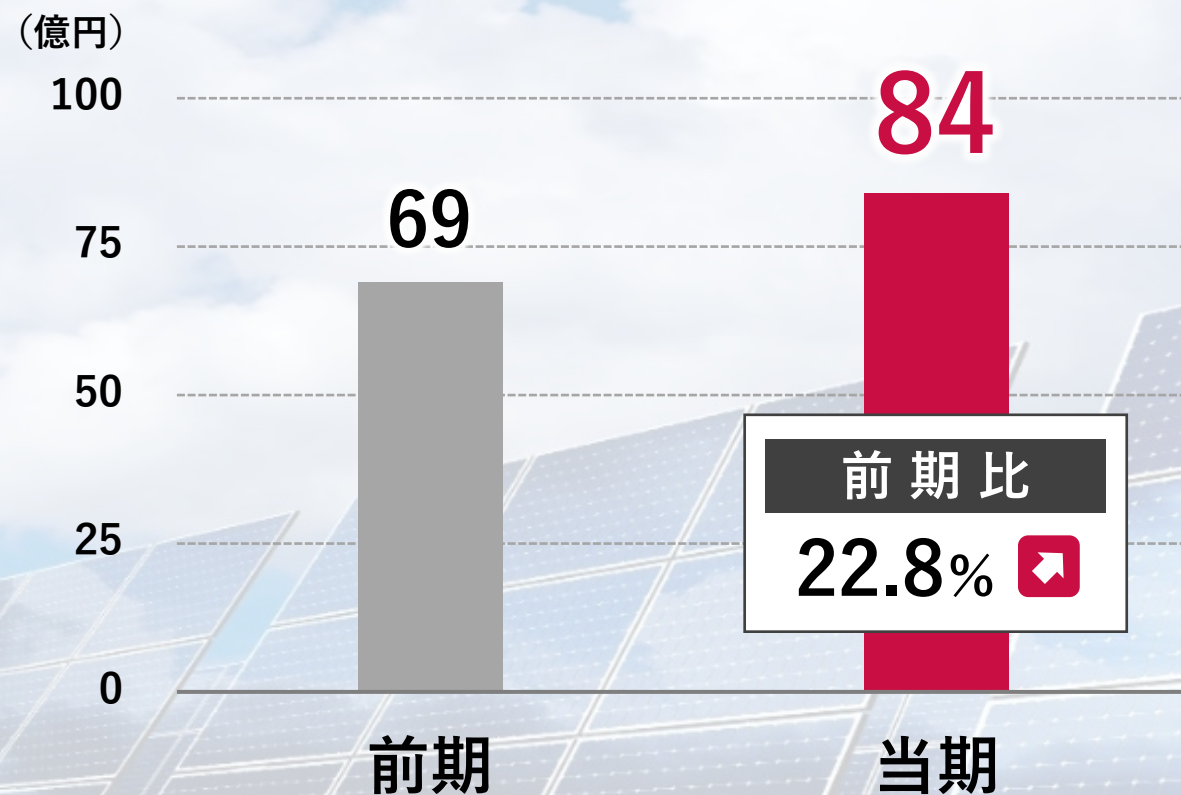


■ フラットパネルディスプレイ関連、プリンター、複写機関連材料などの販売が回復

売上高

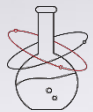


営業利益



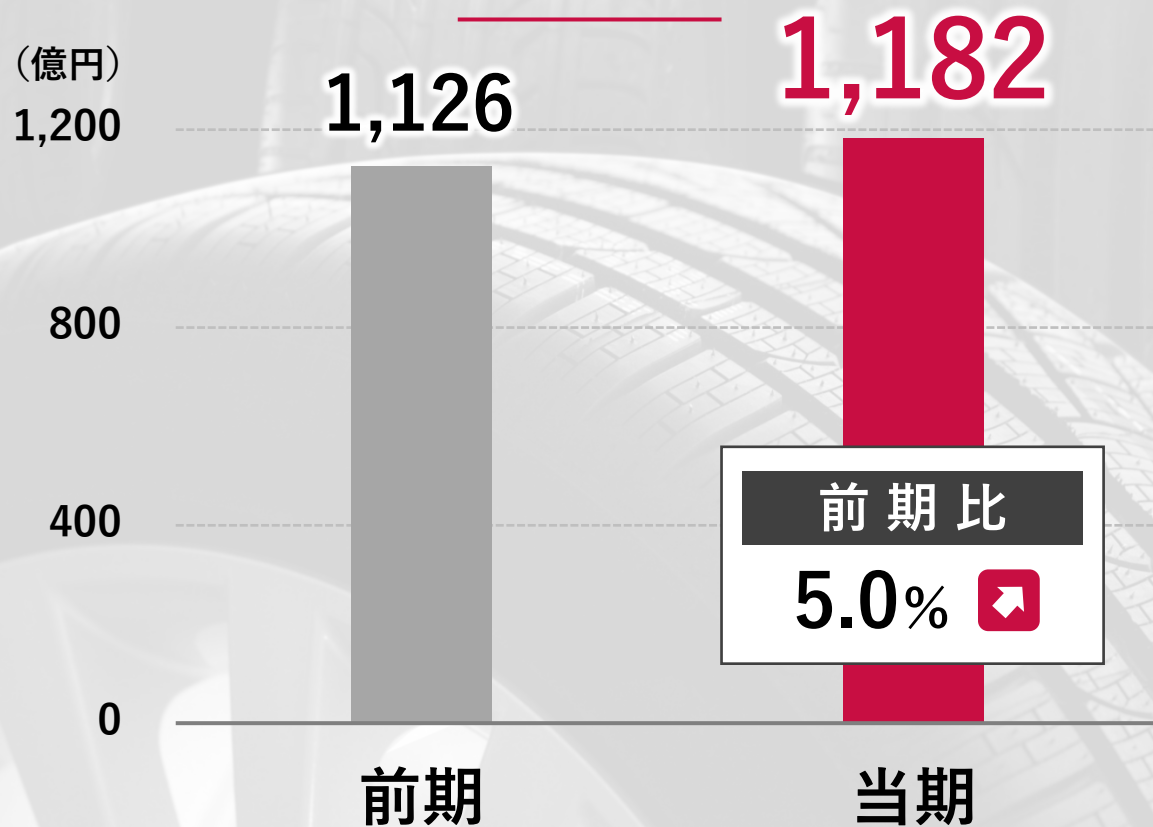


化学品事業

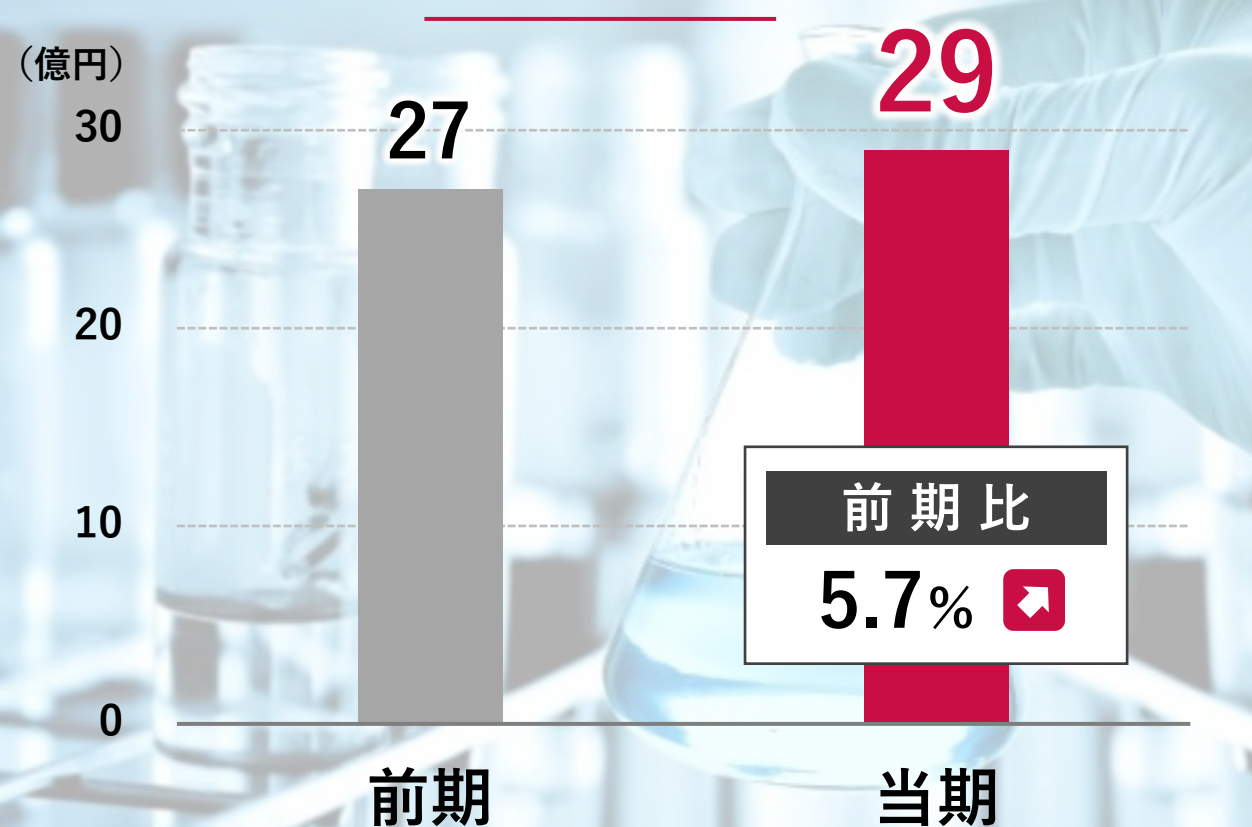


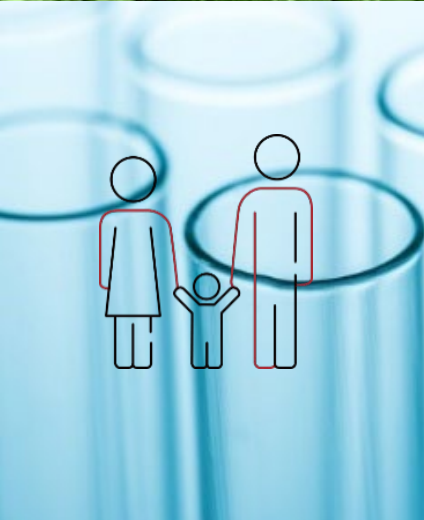
- 樹脂原料・添加剤や製紙用薬剤、建築資材関連などのビジネスが堅調に推移
- 海外への販売が拡大

売上高



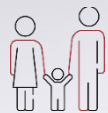
営業利益





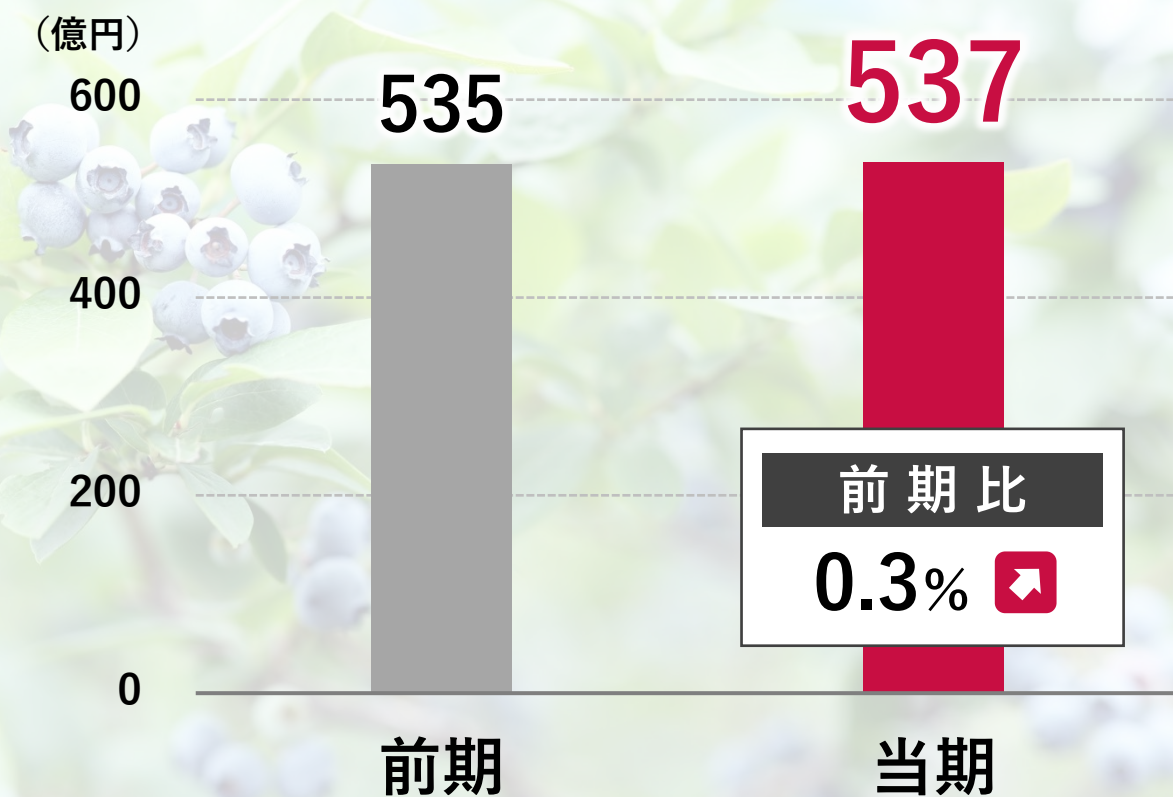
生活産業事業



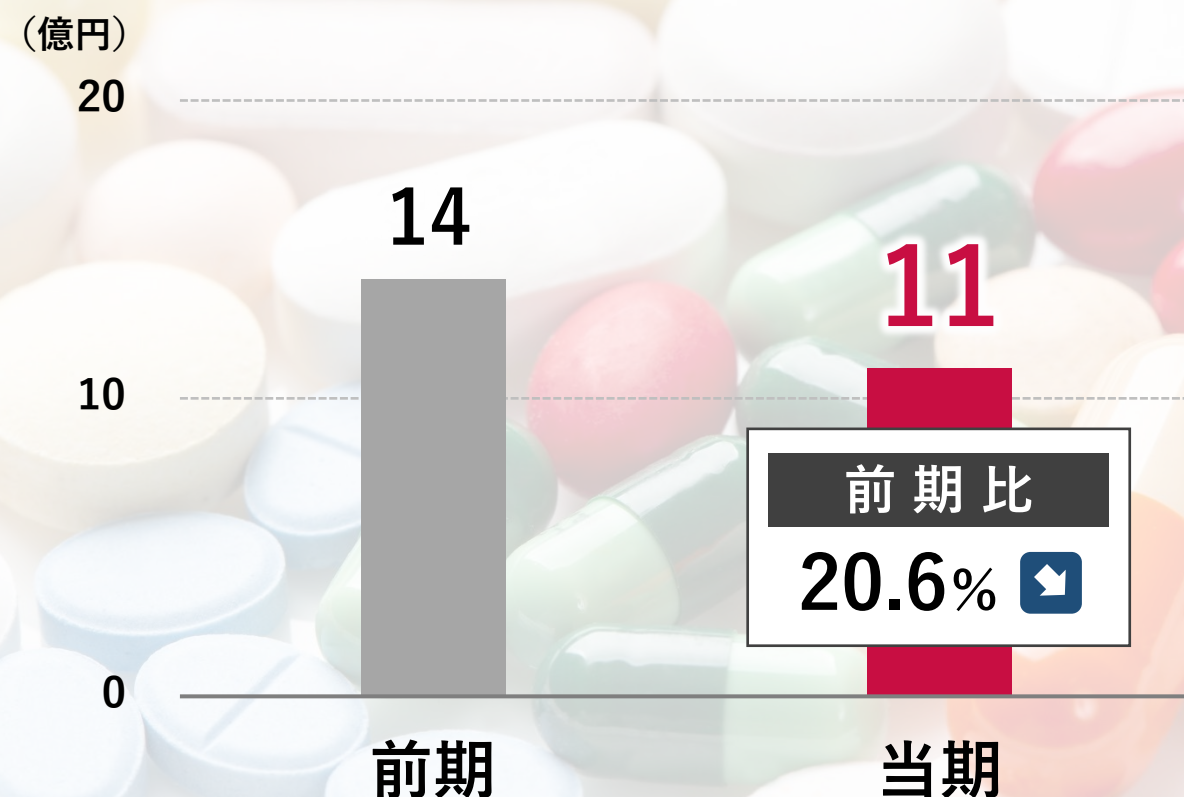


- ライフサイエンス関連、食品関連とも、売上がほぼ横ばい

売上高



営業利益



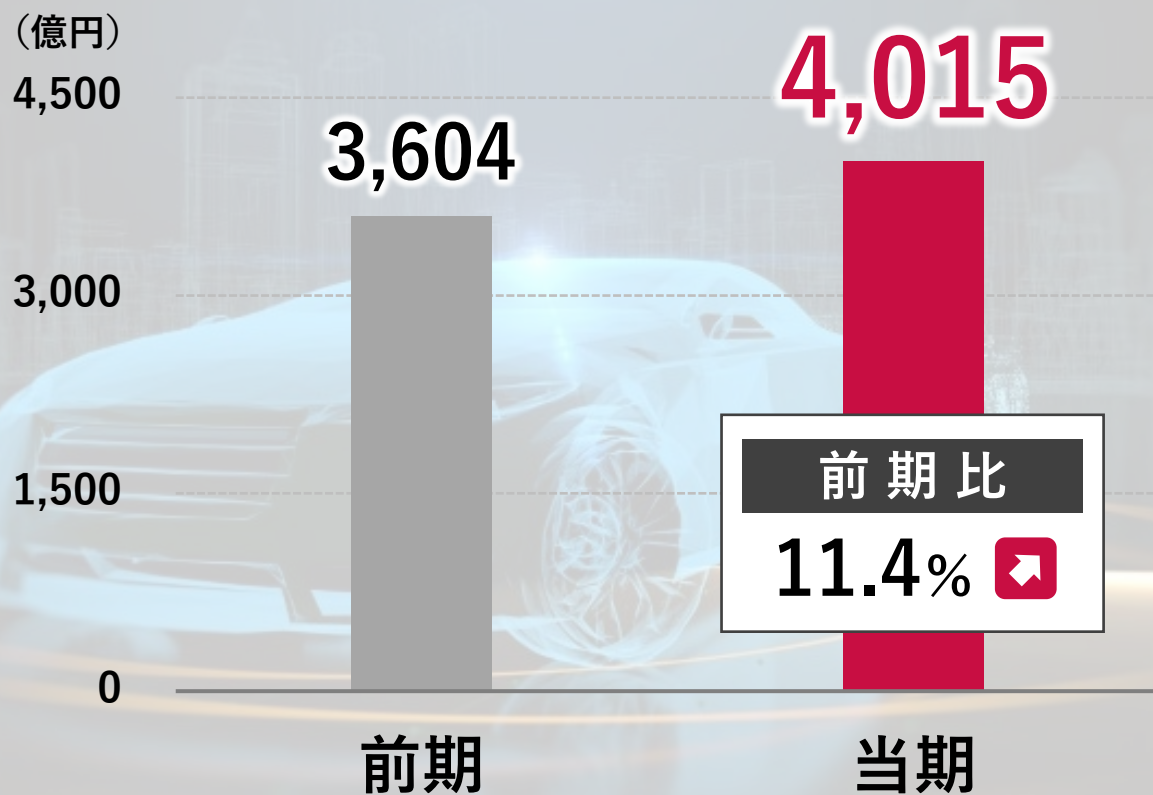


合成樹脂事業

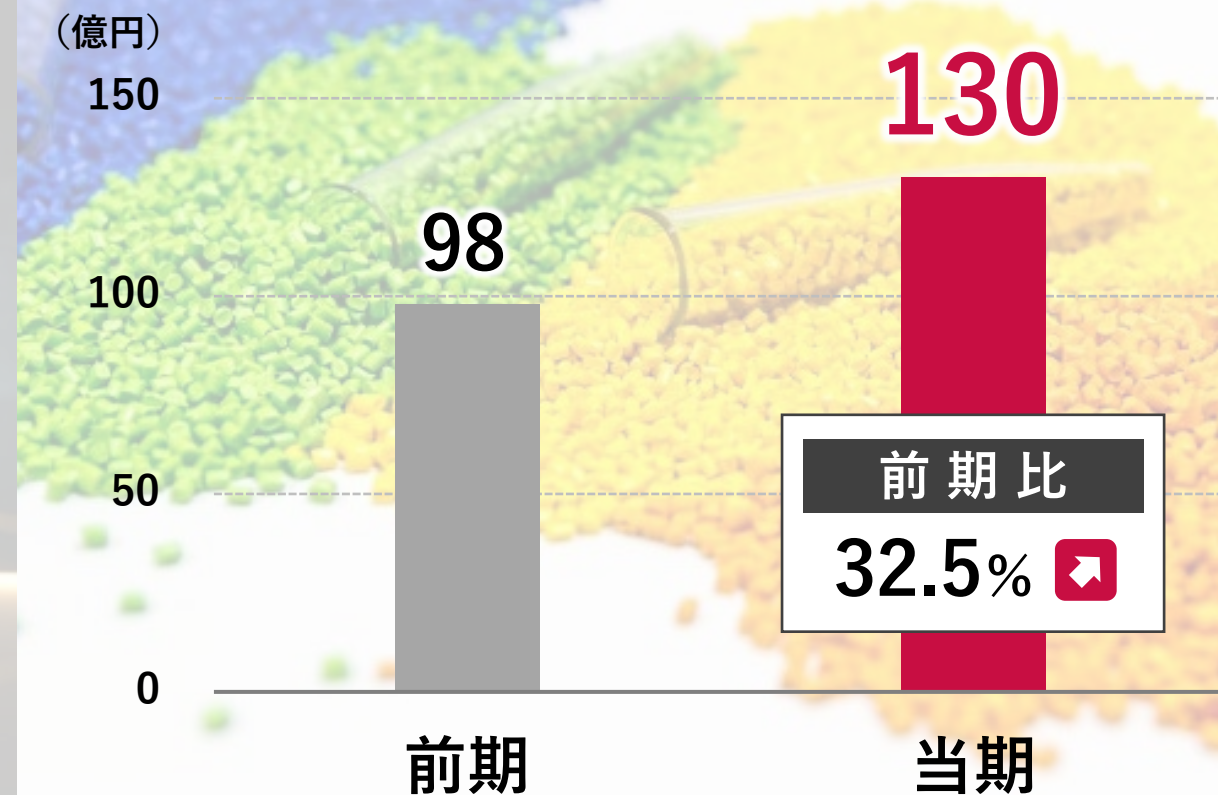


■ 各分野向けで販売が好調に推移

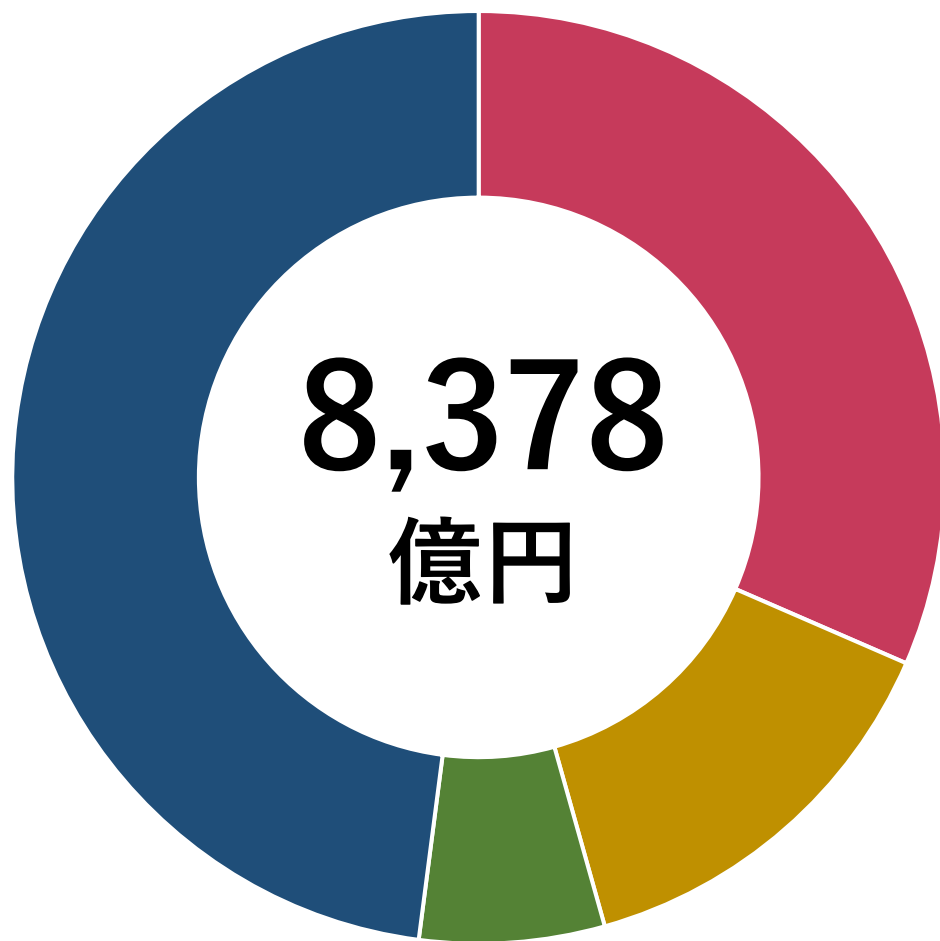
売上高



営業利益

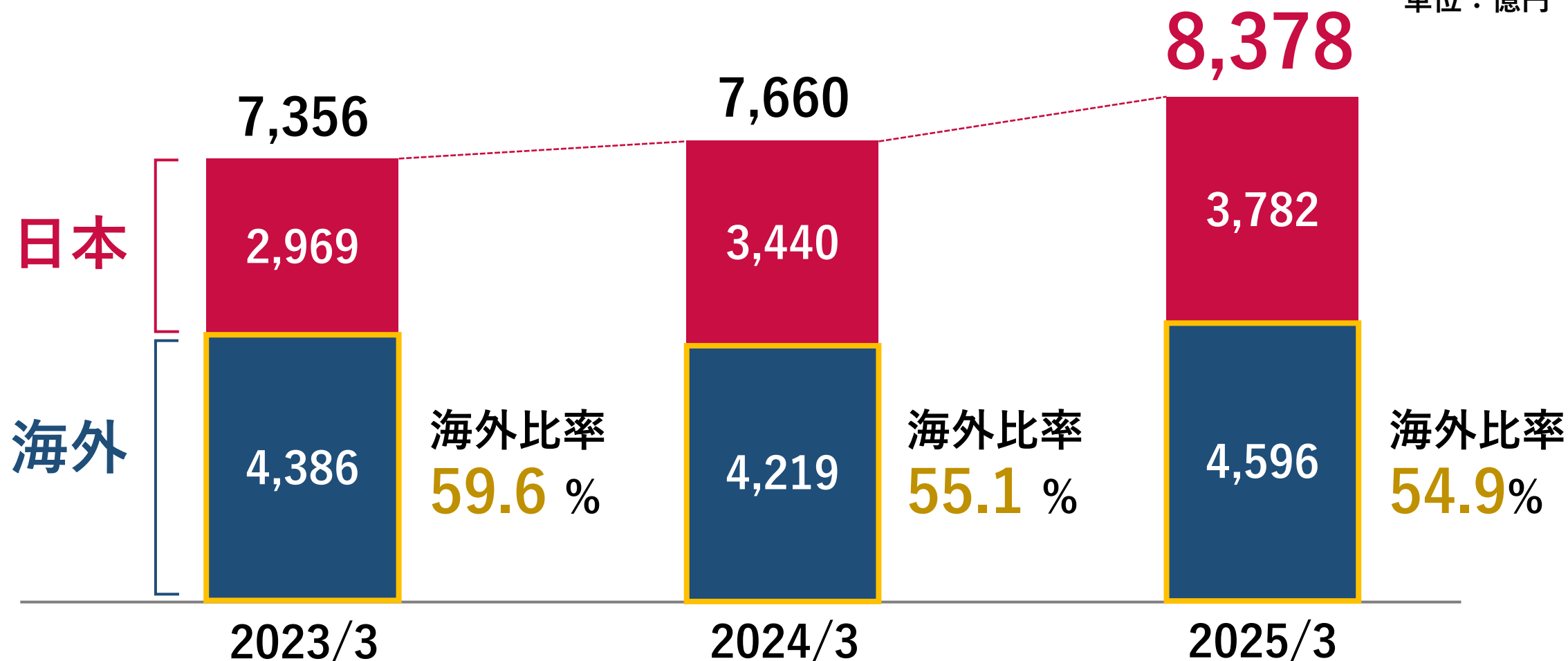


2025年3月期 事業別売上高構成比（連結）

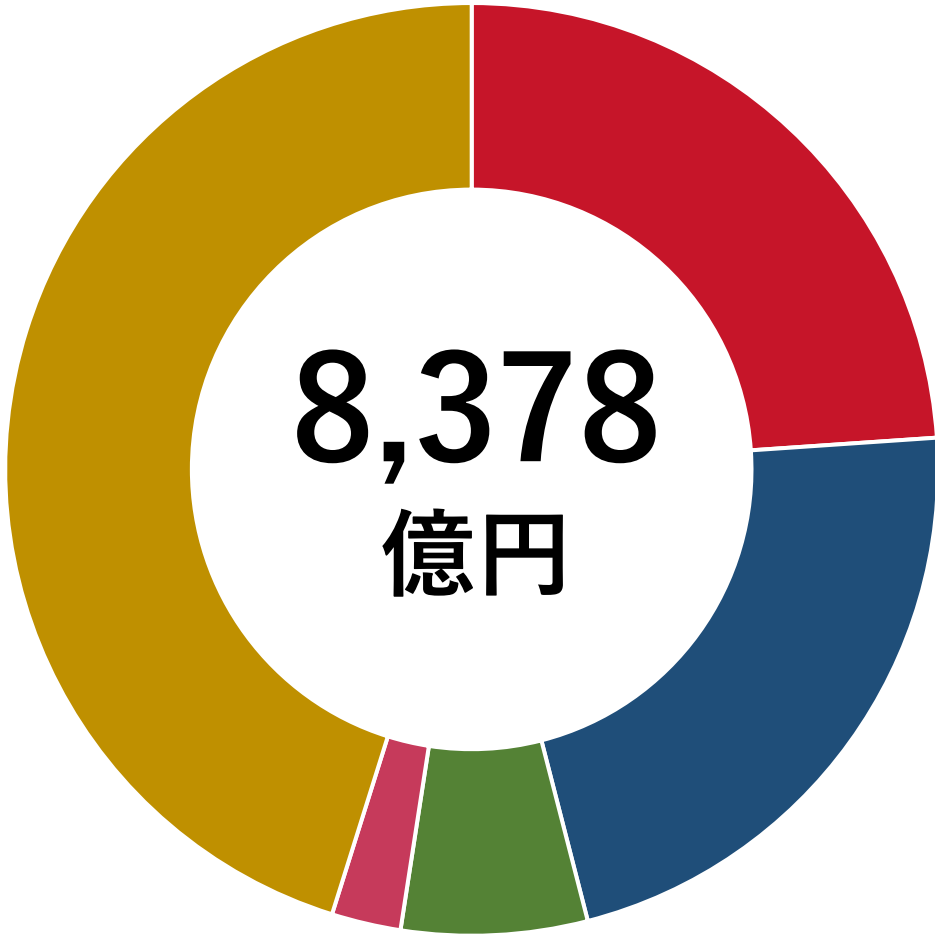
**情報電子****31.5%****2,640億円****化学品****14.1%****1,182億円****生活産業****6.4%****537億円****合成樹脂****48.0%****4,015億円**

国内・海外売上高推移（連結）

単位：億円



2025年3月期 地域別売上高構成比（連結）



東南アジア	23.9%	2,003億円
北東アジア	22.1%	1,849億円
米 州	6.5%	540億円
欧 州	2.4%	201億円
日 本	45.1%	3,782億円

成長に向けた取り組み

招集ご通知 P.38

事業区分	取り組み	狙い等
情報電子事業	バイオマス発電事業への参画	環境・エネルギー関連ビジネスの拡大
生活産業事業	株式会社佐藤園の子会社化	食品の加工・販売機能強化を通じた 食品等生活産業ビジネスの拡大
合成樹脂事業	ノバセル株式会社の設立	コンパウンド機能の拡充と高度化
	再生樹脂製造を行う企業への出資	リサイクルビジネスの拡大
情報電子事業 合成樹脂事業	高機能フィラー製造会社への出資	プラスチック製品の軽量化・再資源化を 通じた成形材料の拡販

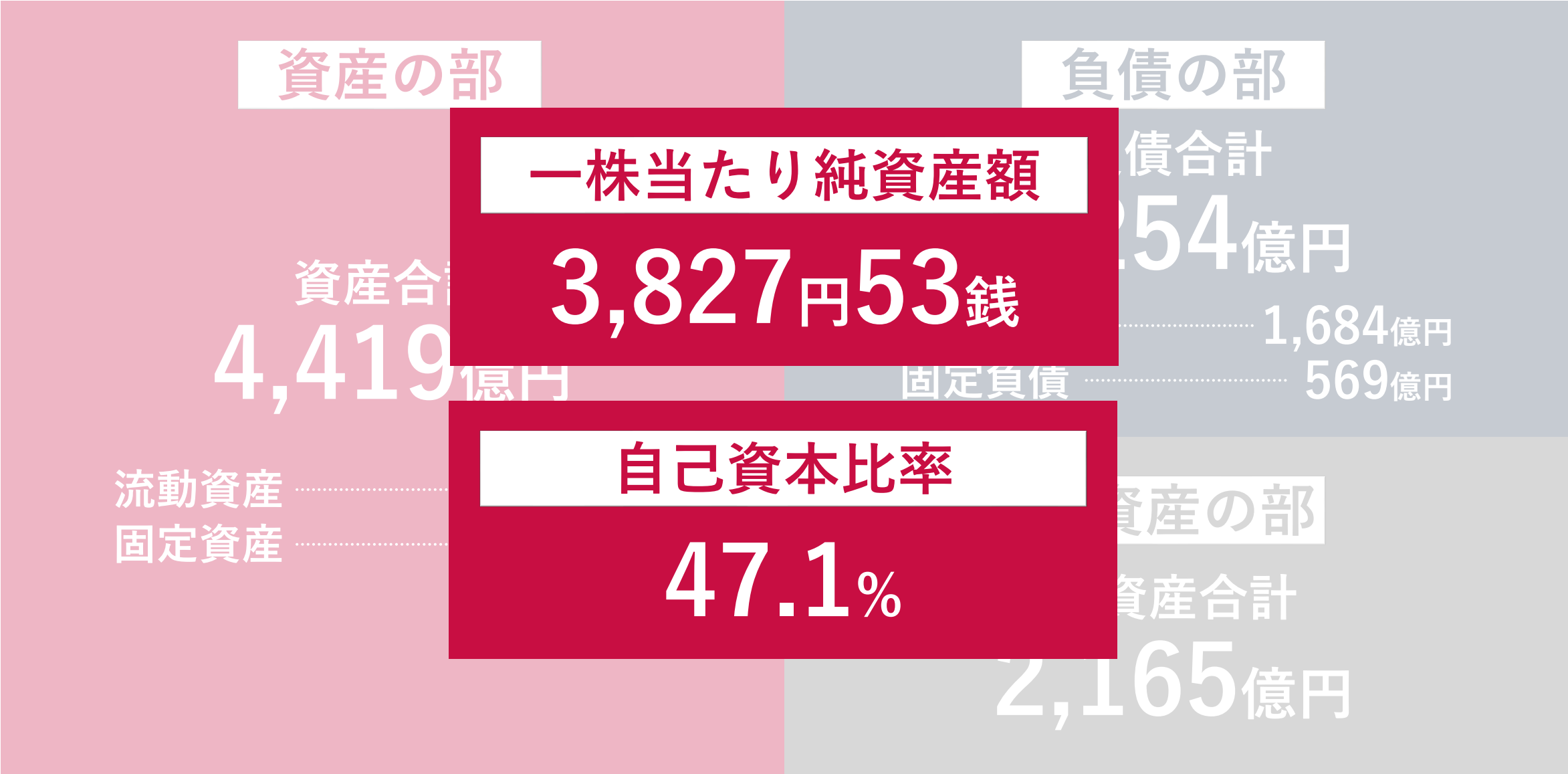
連結計算書類

招集ご通知 P.66-67

連結貸借対照表

招集ご通知 P.66

連結貸借対照表



連結損益計算書

招集ご通知 P.67

売上高	8,378億円	前期比	9.4% 
営業利益	一株当たり当期純利益 363円90銭	前期比	21.9% 
経常利益		前期比	22.2% 
親会社株主に帰属する 当期純利益	198億円	前期比	0.8% 



連結株主資本等変動計算書 連結注記表

当社ウェブサイト等に掲載

**単体の貸借対照表
単体の損益計算書
単体の株主資本等変動計算書
個別注記表**

当社ウェブサイト等に掲載

その他の事業報告、及び監査報告につきましては、
当社ウェブサイトなどに掲載しておりますので、
ご参照いただきますようお願い申し上げます。

対処すべき課題

招集ご通知 P.43-51

経営理念 「愛」「敬」の精神に基づき、人を尊重し、社会の発展に貢献する

目指す姿

時代とともに変化する顧客と社会のニーズに応え、グローバルに事業を展開することにより、価値ある存在として常に進化を続ける

IK Values
価値観

倫理観、志、組織風土、機能、共生

長期ビジョン

IK Vision 2030（2030年頃の将来像）

中期経営計画

第3ステージ **NC2026（2027年3月期目標）**

第2ステージ NC2023（2024年3月期終了）

第1ステージ NC2020（2021年3月期終了）

中期経営計画「NC2026」最終年度の目標数値・指標

2027年3月期目標数値・指標	
売上高	9,500億円
営業利益	270億円
経常利益	260億円
親会社株主に帰属する当期純利益	190億円
R O E	10%以上
ネットD/Eレシオ	0.5倍以下
自己資本比率	概ね50%前後

※想定為替レート：¥145.00/USD

長期ビジョン「IK Vision 2030」

中期経営計画「NC2026」

メインテーマ

- 投資の積極化により成長を加速する
- サステナビリティ中期計画を新たに策定し、経営の重要課題(マテリアリティ)に対処する

全社 成長戦略

セグメント 成長戦略

経営基盤戦略

財務戦略

サステナビリティ戦略
(人事戦略を含む)

デジタル戦略

長期ビジョンに向けた成長戦略

長期ビジョン	戦略
連結売上高 1兆円以上	■ 手段：投資の積極化による収益拡大 ■ 事業領域：環境関連ビジネス、食品等生活産業ビジネスの拡大
複合機能の 高度化	複合機能（特に製造・物流）強化による差別化・収益性向上
事業 ポートフォリオ	■ 主要セグメント（合成樹脂・情報電子）の深耕 ■ 主要セグメントに並ぶ収益の柱の確立
海外比率 70%以上	■ 成長エリア（従来のアジア拠点に加え、インド・メキシコなど米州）の深耕 ■ 未開拓エリア（東欧等）への進出

経営基盤戦略

経営基盤	戦略
財務戦略	資本効率のさらなる向上と 累進配当を始めとする株主還元の重視
サステナビリティ 戦略	「サステナビリティ中期計画2026」においてマテリアリティ に沿った戦略とKPI・目標の設定及びモニタリング
デジタル戦略	経営情報インフラの高度化とグループ全体のセキュリティ強化

株主還元の基本方針と政策保有株式の縮減方針

株主還元の 基本方針

「NC2026」の期間中、

- 一株当たりの配当額については前年度実績を下限とし、減配は行わず、継続的に増加させていくことを基本（**累進配当**）

- 総還元性向の目安としては概ね50%程度

政策保有株式の 縮減方針

- 2027年3月末までに2021年3月末残高に対して概ね80%削減

キャピタルアロケーション

営業キャッシュフロー等
650億円程度



投資等
50～60%程度

株主還元
40～50%程度

NC2026初年度(2025年3月期)進捗状況

	2025年 3 月期	
	実績	期初計画
売上高	8,378億円	8,300億円
営業利益	258億円	225億円
経常利益	261億円	215億円
親会社株主に帰属する当期純利益	198億円	170億円
R O E	9.7%	10%以上
ネット D / E レシオ	0.07倍	0.5倍以下
自己資本比率	47.1%	概ね50%前後

※実績為替レートは¥152.62/USD

2022年6月に特定したマテリアリティ
(経営の重要課題) に対処すべく、
2024年5月に
「サステナビリティ中期計画2026」を策定

KPI・目標に対する
進捗を毎年モニタリング



サステナビリティ・ファイナンスへの取り組み

サステナビリティ・ファイナンスを含めた
資金調達手段の多様化

- グリーンローンの契約締結およびグリーンボンドの発行
- バイオマス発電所の建設資金・環境負荷低減・防災対応力を高めた東京本社ビルの新築(建替え)資金に充当

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

主な取り組み

- 株主資本コストを継続的に上回るROE水準(10%以上)の維持
- 成長戦略の着実な実施による
事業価値向上と成長期待の醸成（PERの向上）
- 情報開示・対話の充実による株主資本コストの低減
- 自己株式取得の継続実施等による株主資本のコントロール

世界経済

- 米通商政策の影響などによる景気減速が懸念
- 物価上昇の継続や金融資本市場の変動、ロシア・ウクライナや中東地域を巡る情勢の変動など、グローバルにビジネスを展開する当社グループを取り巻く環境は非常に不透明な状況

当社グループの商社機能を基本としたビジネスモデルの強みを発揮



「NC2026」の目標達成に向けて、グループ全社で各種の戦略に取り組み、着実に進捗させていくこと

剰余金の配当等の 決定に関する方針

招集ご通知 P.55

「NC2026」期間中の株主還元の基本方針

- 累進配当の継続実施
- 総還元性向※の目安としては概ね50%程度

※総還元性向（％）＝（配当金額＋自己株式取得額）÷ 連結純利益 × 100

※第164期 総還元性向実績値：55.0%

第164期 一株当たりの配当金

中間配当金

60円/株

期末配当金

65円/株

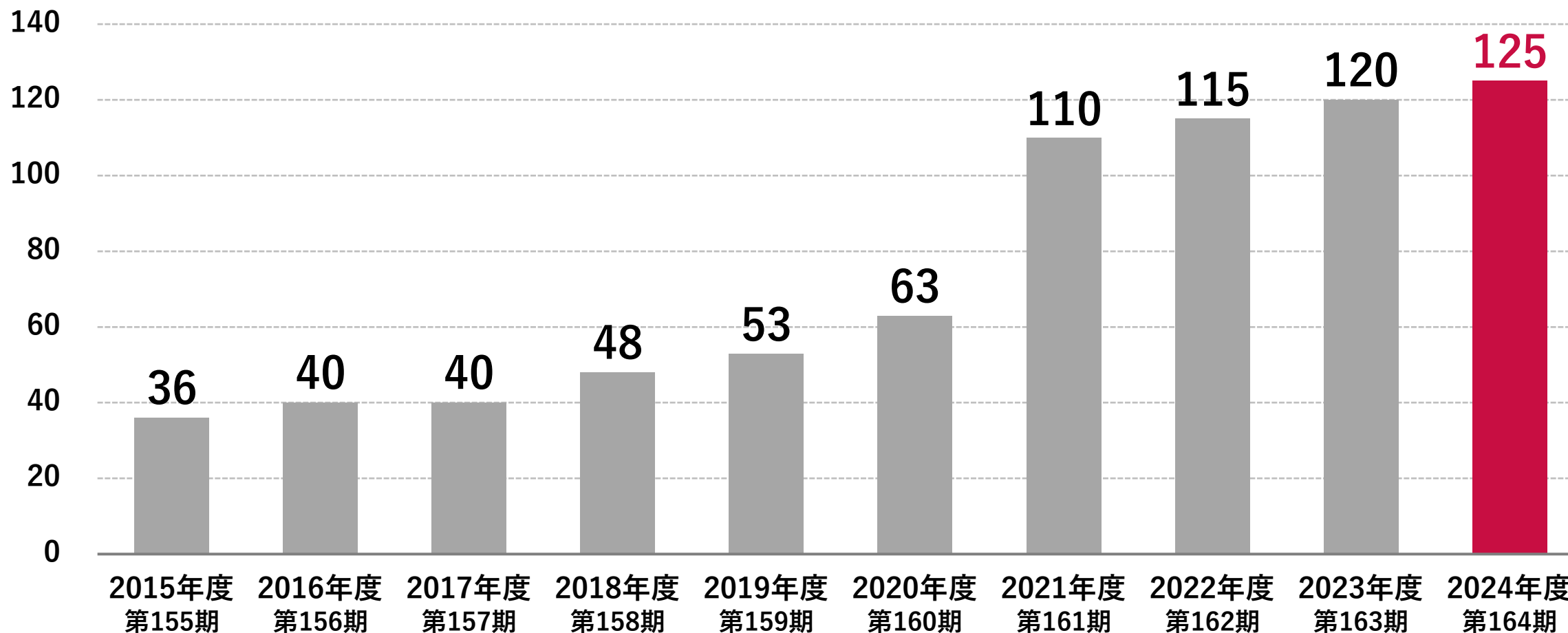
年間配当金

125円/株

剰余金の配当等の決定に関する方針

一株当たりの配当金の推移

(単位：円)



対応すべき課題 剰余金の配当等の決定に関する方針

決議事項

招集ご通知 P.8-19

第1号議案

取締役（監査等委員である取締役を除く。）

7 名選任の件

取締役候補者



いなばた かつたろう
稲畑 勝太郎

取締役候補者



あ か お と よ ひ ろ
赤尾 豊弘

取締役候補者



よこた けんいち
横田 健一

取締役候補者



たけした のりあき
竹下 憲昭

取締役候補者



ちょうなん おさむ
長南 収

取締役候補者



すえかわ ひさゆき

末川 久幸

取締役候補者



い け が き ま り
池垣 真里

第2号議案
監査等委員である
取締役 1 名選任の件

招集ご通知 P.17-19

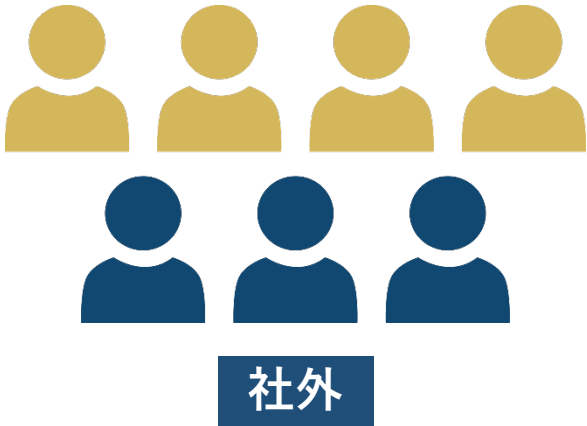
監査等委員である取締役候補者



よこた の り や
横田 乃里也

取締役会の構成

監督機能を強化したモニタリング型の実業取締役会として
引き続き十分な体制が整うものと考えております

取締役（監査等委員を除く）	取締役（監査等委員）	独立社外取締役割合
7名 	5名 	58%(12名中7名) 

当社取締役を求める専門性及び経験（スキルマトリックス）

		氏 名 （＊女性）	グローバル 経営	事業・業界知識			財務・ 会計	法務・リス ク管理・ 内部統制	人事・ 労務	IT・ デジタル	ESG
				電子・ エネルギー	素材・ 化学	食品・ 生活					
取締役	社内	稲畑 勝太郎	●		●			●	●		●
		赤尾 豊弘		●	●	●					
		横田 健一					●	●	●	●	●
		竹下 憲昭			●		●		●	●	
	社外・ 独立	長南 収	●			●					
		末川 久幸	●			●					
		池垣 真里＊							●		●
取締役（監査等委員）	社内	久保井 伸和				●	●			●	
	社外・ 独立	佐成 実		●			●				
		藤澤 友一				●	●				
		横田 乃里也				●	●	●	●	●	
		伊藤 志保＊					●	●			

質疑応答（事前質問）

1 株式分割の予定について

2 PBRを1倍以上にする 目標の期限と方策について

3

米国の経済政策による 影響について

4 年間配当金予想の 増配幅について



質疑応答

質疑応答に際してのお願い事項

- お配りしているカードのカラー面を掲げてください

.....

- 指名後、マイクスタンドにご案内いたします

.....

- 出席票番号とご質問をご発言ください

.....

- 1回につき1問とさせていただきます

議案の採決

取締役（監査等委員である取締役を除く。） 7 名選任の件

いなばた かつたろう
稲畑 勝太郎

あ か お とよひろ
赤尾 豊弘

よ こ た けんいち
横田 健一

たけした のりあき
竹下 憲昭

ちょうなん おさむ
長南 収

すえかわ ひさゆき
末川 久幸

いけがき まり
池垣 真里

招集ご通知 P.8-16

監査等委員である取締役 1 名選任の件

よ こ た の り や
横田 乃里也

招集ご通知 P.17-19

IK INABATA

閉会



新任取締役紹介

IK 稲畑産業株式会社